

岩手県水産技術センター展示水槽を紹介します



ニホンウナギ(ウナギ目ウナギ科)
Anguilla japonica
北海道以南の日本各地に生息する。主に川で育ちマリアナ諸島沖で産卵する。夜行性で、塩ビパイプの中が落ち着くようです。



ウマヅラハギ(フグ目カワハギ科)
Thamnaconus modestus
積丹半島、相模湾以南、東シナ海・南シナ海に分布。水深200m以浅の沿岸に生息する。食用になり、刺身、チリ鍋、煮つけなど、かなり美味。



久慈副所長の手から器用にイガイを食べるウマヅラハギ。まもなく飼育2年になります。



ボラ(ボラ目ボラ科)
Mugil cephalus
日本各地の沿岸域の浅所や河川下流域までに生息する。高級食材のカラスミは卵巣を塩漬けし、干したものの。



クサウオ(カサゴ目クサウオ科)
Liparis tanakai
長崎県、瀬戸内海～北海道南部、東シナ海、黄海に分布。水深120m以浅に生息する。産卵期は12～3月。寿命は1年と推定される。



エゾイソアイナメ(タラ目チゴダラ科)
Physiculus maximowiczii
沿岸から水深600m付近にまで幅広く生息する。北日本ではドンコと呼ばれ、鍋物などの材料とされる。



マナモコ
岩手県沿岸ではアカナマコと呼ばれる。ナマコを生食する習慣があるのは日本ぐらい。酒の肴のコノワタは腸を塩漬けたもの。



フサギンポ(スズキ目タウエガシ科)
Chirolophis japonicus
山陰地方、岩手県以北の海底から岩の割れ目などに生息する。この個体はとても人になついています。



クサフグ(フグ目フグ科)
Takifugu niphobles
青森県～沖縄に分布。水深50m以浅に生息する。筋肉と精巢は弱毒、皮と内臓に毒がある。砂に潜る習性がある。



カワハギ(フグ目カワハギ科)
Stephanolepis cirrhifer
北海道以南、東シナ海に分布。水深200m以浅の沿岸に生息する。刺身の肝あえなど、美味。



キタムラサキウニ(左)エゾバンフウニ(右)
岩手県沿岸で食用にするウニの代表。